

使徒信条

我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す

日本基督教団姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女(おとめ)マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来りて生ける者と死ねる者とをさばきたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、永遠(とこしえ)の生命(いのち)を信ず。 アーメン

説教題「使徒信条講解(2)～創造者なる神～」(創世記1章1～31節)

「初めに、神が天と地を創造した。」「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常に良かった。」

今年の暦で言えば、4月4日(日)は主イエス様の復活日、5月13日(木)は主イエス様の昇天日、24日(日)が聖霊降臨日(ペンテコステ)に当たります。主イエス様が昇天される前に群衆たちに「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。」と命じられ、「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」と約束されたのです。その上、二人の御使いを通して「もう一度主イエス様が再臨される」ことも語られたのです。そのことを聞いた「彼らは町にはいると、泊まっている屋上の間に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダであった。この人たちは…みな、心を合わせ、祈りに専念していた」のです(使徒1:3～14)。

神様は天地万物の創造者であります(1:1, 21, 27, 2:3, 4, 5:1, 2, 6:7、箴言8:26～29、ヨハネ1:1～3、コロサイ1:15～17、黙示録4:11)。神様が創造されたものをご覧になると「良しとされた(非常に良かった)」のです(4, 10, 12, 18, 25, 31)。神様は5日間ですべてを創造され、人間を最後に造られ(マルコ10:6)、しかも他の被造物を支配する者として造られたのです(26～28、イザヤ45:12, 18)。しかし人間がその神様との関係を破って「神のように」なろうとした所に罪が生じたのです(3:5)。けれど

も神様は人間にご自分との関係を正すようにと様々の方法で招かれたのです。「あなたの若い日にあなたの創造者を覚えよ」（伝道者 12:1）、「目を上げてだれがこれらを創造したかを見よ」（イザヤ 40:26）。更に「わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしが創造し、これを形造り、これを造った」（イザヤ 43:7）と約束され、イエス・キリストを信じる者にこの約束を実現されたのです {コリント②5:17、エペソ 2:10「神の作品」（神のよって造られた者）}。その神様が「新しい天と地を創造する」と約束されたのです（イザヤ 65:17, 18）。主に信頼し、望みを持って歩みましょう。